

浄心の道
―巡礼―

第43回 全日本仏教徒会議 愛媛大会

平成27年
10月30日(金)・31日(土)

ひめぎんホール

10月30日(金)12時開場 基調講演・巡礼サミット
10月31日(土)9時開場 対談・記念講演



基調講演 / 加藤 精一 現下



記念講演 / 片岡 鶴太郎



対 談 / 天童 荒太

どなたでもお申し込みできます(無料)

《お問い合わせ先》各寺院・協賛各社

主催：愛媛県仏教会・全日本仏教会

第43回 全日本仏教徒会議 愛媛大会

浄心の道 — 巡礼 —

2days

10月30日(金)・31日(土)

公益財団法人全日本仏教会 会長

加藤 精一 猥下

直木賞受賞作家

天童 荒太氏

俳優・画家

片岡 鶴太郎氏

プロフィール

生年月日：昭和11年6月27日生
 現職：・真言宗豊山派第32世管長
 ・総本山長谷寺第86世化主
 経歴：平成7年 密教学芸賞
 平成12年 真言宗豊山派
 総合研究院院長
 平成17年 大正大学名誉教授
 平成23年 密教教化賞

プロフィール

愛媛県出身。
 『家族狩り』で山本周五郎賞を受賞し、昨年TBS系でドラマ化。ベストセラー「永遠の仔」はよみうりテレビにて連続ドラマ化。2009年には「悼む人」で第140回直木賞を受賞。
 悼む人は2012年に舞台化、2015年には映画化され全国にて上映。

プロフィール

幅広いキャラクターを演じる役者として、ドラマ・映画・演劇など様々なメディアで大活躍中。
 映画「異人たちの夏」では第12回日本アカデミー賞最優秀助演男優賞を受賞。
 1995年に「とんぼのように」の初個展を開催。2015年には書の芥川賞と言われる「第十回手島右卿賞」を受賞。

1日目 10月30日(金) 開場12時 開演13時

- 基調講演
 (公財)全日本仏教会 会長 加藤 精一 猥下
- 巡礼サミット
 四国霊場八十八か所やスペイン・サンディアゴ巡礼など世界各地の「巡礼」について

2日目 10月31日(土) 開場9時 開演9時45分

- 記念講演
 天童 荒太氏 (座談会式)「悼む人」-巡礼-
 片岡 鶴太郎氏「流れのままに」

2日間 共通イベント

- 腰塚 勝也 師 仏画展
- 体験プログラム
 お砂踏み・数珠作り・坐禅



愛媛県イメージアップキャラクター みきやん 許諾番号 2705038

お問い合わせ 実行委員会 事務取扱 TEL089-911-1755

入場無料

参加申込みの方は各寺院及び協賛各社にて「記念イベント参加申込書」に記入してFAXしてください。確認後入場チケットを人数分送ります。



- JR松山駅から
 ・伊予鉄市内電車(道後温泉行)で約15分、南町で下車。
 ・伊予鉄バス(道後温泉駅前行)で約20分。
- 松山空港から
 ・伊予鉄バス(道後温泉駅前行)で約40分。
- 松山観光港から
 ・伊予鉄バス(道後温泉駅前行)で約40分、南町・県民文化会館前で下車。

第43回 全日本仏教徒会議 記念講演

全日本仏教徒会議 愛媛大会 によせて

司会者

大下香奈(歌手・フリー
アナウンサー)
白川密成(栄福寺住職)

2015年10月31日(土)

開場9:00、開演9:45

ひめぎんホール

松山市道後町2丁目5-1



写真提供:近代映画社

●片岡鶴太郎

幅広いキャラクターを演じる役者として、ドラマ・映画・演劇など様々なメディアで大活躍中。

映画「異人たちとの夏」では第12回日本アカデミー賞最優秀助演男優賞を受賞。1995年に「とんぼのように」の初個展を開催。2015年には曙の芥川賞と言われる「第十回手島右脚賞」を受賞。



●天童荒太

愛媛県出身。

「家族狩り」で山本周五郎を受賞し、昨年TBS系でドラマ化。ベストセラー「永遠の仔」はよみうりテレビにて連続ドラマ化。

2009年には「悼む人」で第140回直木賞を受賞。

悼む人は2012年に舞台化、2015年には映画化され全国にて上映。

第43回 全日本仏教徒会議 記念講演

全日本仏教徒会議 愛媛大会 司会者

記念講演者
片岡鶴太郎
対談
天童荒太

2015年10月31日(土)
開場9:00、開演9:45
ひめぎんホール
松山市道後町2丁目5-1



●大下香奈

元NHK松山放送局キャスター、元テレビ愛媛アナウンサー。2010年FNSアナウンス大賞番組部門ブロック賞を受賞。アナウンサーになる以前から歌への想いは強く、2002年に愛媛県松山市で行われた歌の大会でグランドチャンピオン大賞を受賞。彼女の歌声は、作品の世界観をさらに広げて、聴く人のさまざまな想いをかきたてる。



●白川密成

四国第57番札所、栄福寺住職。著作に『ボクは坊さん。』（ミシマ社、ブックデザイン寄藤文平）『空海さんに聞いてみよう。』（徳間書店）。『ほぼ日刊イトイ新聞』版の「坊さん。」は <http://www.1101.com/bose/index.html> 映画版「ボクは坊さん。」10月公開。